

船引中合唱部が東北大会で銅賞

全日本合唱コンクール東北支部大会に県代表として出場した船引中学校合唱部が、同声合唱の部で銅賞を受賞しました。大会は9月26日から28日までの3日間、青森市文化会館で開かれ、船引中は27日に出演しました。同声合唱の部には25団体が参加し、2番目に登場した船引中は、練習の成果を発揮してホールに美しい歌声を響かせました。

船引中は8月30日に会津風雅堂で開かれた第68回福島県合唱コンクールで金賞を受賞し、東北支部大会出場を決めました。部員26人を率いる部長の菅野未祥さん(3年)と副部長の樽井優璃さん(3年)、顧問の吉田厚子教諭、佐藤勝次郎教頭が9月18日に市役所を訪れ、富塚市長に報告しました。



JICAの白石さんが表敬訪問



独立行政法人国際協力機構(JICA)青年海外協力隊の本年度2次隊ボランティアとして派遣される白石今日美さん(常葉町・写真中央)が9月25日、富塚市長を表敬訪問しました。

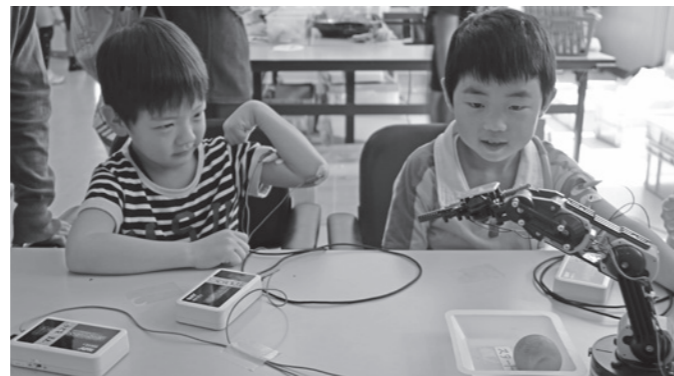
白石さんは10月から2年間、カメルーンの中等教育事務所に滞在し、パソコンインストラクターとして生徒にパソコンの基本操作や故障したパソコンの修理技術などを指導します。この支援は、現地で不足している情報処理教育を担当する教師の解消と、技術力向上を図る目的で行われます。

子どもたちが学び、楽しむ



子どもたちの生きる力を育む体験交流活動「田村っ子ゆめまつり2014」が9月21日、船引公民館で開かれ、大勢の子どもたちが昆虫や海の生き物に触れたり、自然と触れ合う遊びを体験したりして楽しい1日を過ごしました。

会場にはアクアマリンふくしまの移動水族館や兵庫県からの移動博物館、日本科学未来館のロボット、クラフトコーナーなど、子どもたちの興味を引くイベントがたくさん用意されました。ステージでは鬼五郎幡五郎太鼓やあぶくま太鼓紅組、東京から出演のMAX音楽隊の演奏が披露され、多くの参加者が聞き入っていました。主催は田村っ子の生きる力を育む会。



佐藤寛次さん、佐藤多利治さんに旭日単光章



元船引町議会議員の佐藤寛次さんと佐藤多利治さんに高齢者叙勲旭日単光章の授与が決まり、伝達式が9月18日に市役所で行われました。県中地方振興局の橋本局長から、佐藤寛次さん(写真左)と佐藤多利治さんの代理で出席した四女の真由美さん(写真右)に勲章と勲記が手渡され、富塚市長が立ち会いました。

佐藤寛次さんは、昭和58年から平成7年までの3期12年にわたり船引町議会議員を務め、総務常任委員会委員長などを歴任するなど地方自治の発展に貢献されました。

佐藤多利治さんは、昭和62年から平成11年までの3期12年にわたり船引町議会議員を務め、産業建設常任委員会委員長などを歴任するなど町の産業・厚生振興発展に尽力されました。

不法投棄監視員の佐藤員生さんに感謝状



福島県産業廃棄物不法投棄監視員を務める佐藤員生さん(滝根町神俣)が勤続10年になり、県から感謝状が贈られました。

贈呈式は9月26日、県中地方振興局で行われ、橋本明良局長から佐藤さんに永年勤続知事感謝状と記念品が手渡されました。佐藤さんは、平成16年4月から県の委嘱で同監視員を務め、現在も産業廃棄物の不法投棄などの未然防止や早期発見に貢献しています。

山車を活用し子ども太鼓を披露



大越町白山地区で秋分の日、秋の祭事「五斗蒔地藏尊祭礼」の余興となる奉納やぐら踊りが、行政局隣のおおごえふるさと館前で行了われました。やぐらは、旧大越町が制作した山車を使い、子ども部の児童などが大太鼓や小太鼓の見事な披露を披露すると多くの声援が送られました。

余興は長年、地元青年会が主催し、秋の夜長の恒例行事として多くの参加者や来場者でにぎわっていました。しかし、昨年青年会が解散したため、実施ができない状況になりました。地元では百年近い伝統を途切れさせたくない気持ちと、子どもたちや孫たちの楽しみや地域交流の場をなくしたくない思いから、約30人の有志が実行委員会(山口正一会長)を立ち上げ、継続にこぎつけました。委員会では来年以降も余興を続けていく予定です。山車はおおごえふるさと館内に展示されていますので、ご覧ください。